

BUSINESS REPORT



TRADERS HOLDINGS CO., LTD.

FLY TO HIGHER STAGE!



第9期中間報告書

2007年4月1日 ~ 2007年9月30日

トレーダーズホールディングス 株式会社

TO OUR SHAREHOLDERS



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに 트레이ダーズホールディングス株式会社「第9期中間報告書（2007年4月1日～2007年9月30日）」をお届けいたしますので、ご査収の上、ご高覧の程お願い申し上げます。

当社グループは、高い成長を続ける外国為替証拠金取引（FX）および日経225先物・オプション取引という金融デリバティブを主力取扱商品としております。リテール分野における幅広い顧客の様々なニーズにマッチした投資環境を構築することにより、お客様に支持される企業になるべく、不断の努力をしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますよう切にお願い申し上げます。



当中間連結会計期間の事業環境と業績概要についてお聞かせください。



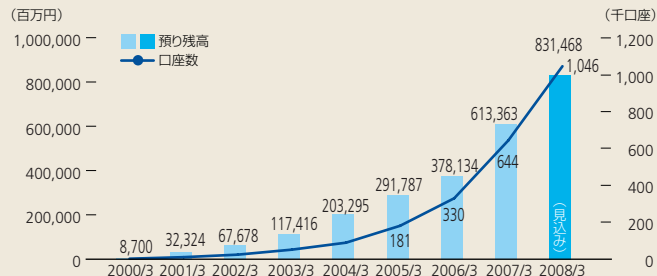
当中間連結会計期間の日本経済は引き続き緩やかな拡大を見せましたが、米国を震源地とするサブプライムローン（信用力の低い個人向け住宅融資）問題をきっかけとした大きな市場変動の影響を少なからず受けることとなりました。

外国為替取引事業においては、市場の拡大および為替相場のボラティリティ上昇という追い風の下、サービス内容の改善やマー

Contents

株主の皆様へ	P01-02
事業別の概況	P03
決算ハイライト	P04
連結財務諸表	P05-06
事業戦略	P07-10
IR情報	P11-12
株主アンケート集計報告	P13
株式の状況 / 会社概要	P14

外国為替証拠金取引（FX）業界全体の預り残高と口座数



出所：矢野経済研究所「2007年版外国為替証拠金取引の動向と展望」

ケティングの強化により、取引高および顧客口座数は大幅に増加いたしました。一方、主にドル急落・円急騰により顧客に損失が発生したことから、顧客からの預り資産は対前年同期比で横ばいとなりました。

証券取引事業においては、市場の乱高下の影響を受けたものの、オンライン取引サービスの充実を図るとともに取引条件の改善を行った結果、顧客口座数・預り資産とも大幅な増加となり、受入手数料は順調な伸びを見せました。また、大阪証券取引所で9月に導入された「イブニング・セッション」は当初から取扱いを開始し、取引時間の拡大によりさらなる収益の獲得機会を得ました。

この結果、当社の2008年3月期連結中間決算は、営業収益3,052,904千円(対前年同期比20.7%増)、営業利益686,854千円(対前年同期比1,836.3%増)、経常利益703,824千円(対前年同期比1,930.0%増)と業績の順調な推移を示す結果となりました。しかしながら、9月に発生した証券取引システムのシステム障害に起因する特別損失を計上したため中間純利益は74,367千円(前年同期は112,944千円の中間純損失)に留まりましたが、当中間連結会計期間においては増収増益となりました。

Q 下期の取組みをお聞かせください。

A 下期はこれまで準備をしてきた施策を結実させ、成果に結びつける時期と位置づけております。

外国為替取引事業および証券取引事業においては、オンライン

取引システムの抜本的な改善と強化を実施いたします。強化した取引システムをより有効に機能させるため、顧客視点に立ったサービスの見直しと内容の向上に取組み、さらなるマーケティングの強化を図ります。

また、グループの収益性と資本効率の改善・強化にも取組みます。事業の採算性と投資効率の見直しを行い、PERやROEの上昇を図ってまいります。

当社グループを一層ご理解いただき、また株主の皆様のご意見をできるだけ吸収させていただくため、IR活動を一層強化する計画も有しております。

Q 金融商品取引法への対応は万全ですか。

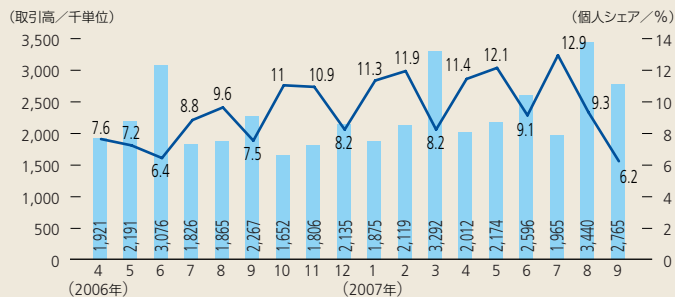
A 2007年9月30日より「金融商品取引法」が施行され、投資家保護の要請が従来以上に強まりました。当社グループは、新法対応のため万全の準備を行ってまいりました。内部統制システムの構築とともに、従来以上にコンプライアンスの徹底を図り、投資家の皆様への揺るぎない安心と信頼の提供に努めてまいります。

2007年12月

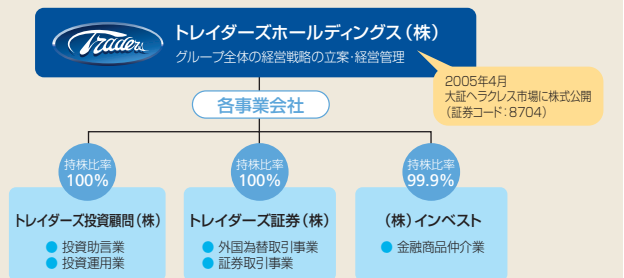
トレーダーズホールディングス株式会社
代表取締役社長

斎藤正敏

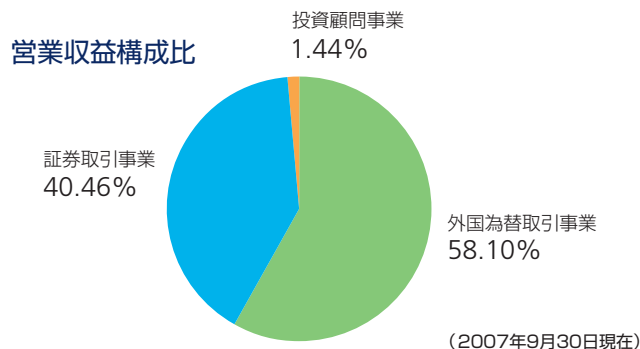
日経225先物Large：大証全体取引高と個人シェア



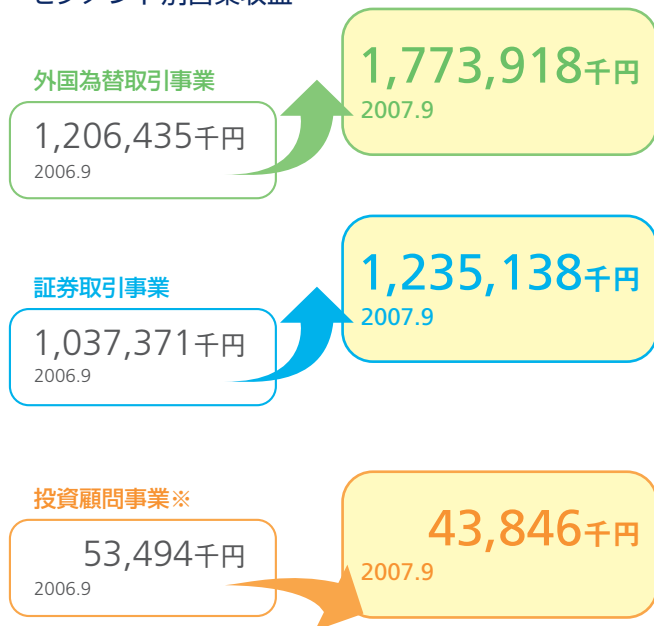
2008年3月期のグループ構成と事業領域



事業別の概況



セグメント別営業収益



外国為替取引事業

当事業部門におきましては、外国為替証拠金取引(FX)市場の拡大とともに、米国のサブプライムローン問題の影響を受けた市場の激しい値動きによる収益獲得機会の増大により、取引高および顧客口座数は大幅に増加いたしました。しかし、主にドルの急落により損失を被った顧客の預り資産が減少したことにより、顧客からの預り資産は横ばいとなりました。この結果、当中間連結会計期間における営業収益は1,773,918千円(対前年同期比47.0%増)、営業利益は1,122,953千円(対前年同期比48.0%増)となりました。顧客口座数は18,069口座(対前年同期比78.5%増)、預り資産は16,266,269千円(対前年同期比1.6%増)となりました。

証券取引事業

当事業部門におきましては、市場の乱高下の影響を受けたものの、顧客に対するオンライン取引サービスの充実に尽力してまいりました結果、顧客口座数も2倍近い増加となり、受入手料は順調な伸びを見せました。この結果、当中間連結会計期間における営業収益は1,235,138千円(対前年同期比19.1%増 うち、受入手料1,217,872千円、トレーディング損益△5,919千円、金融収益23,185千円)、営業利益は16,225千円(前年同期は営業損失87,484千円)となりました。顧客口座数は15,585口座(対前年同期比86.8%増)、預り資産は33,151,817千円(対前年同期比45.8%増 保護預り有価証券残高を除く)となりました。

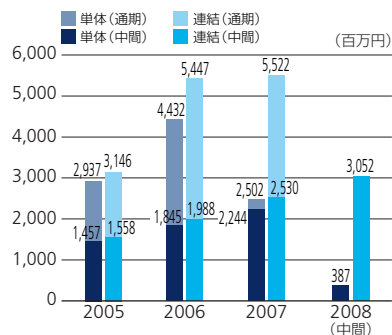
投資顧問事業

当事業部門におきましては、投資一任業務の日本株ロング・ショートファンドの運用資産の伸び悩みにより、営業収益は減少いたしました。この結果、当中間連結会計期間における営業収益は43,846千円(対前年同期比18.0%減)、営業損失は40,832千円となりました。

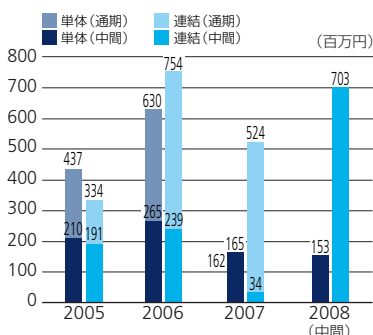
※前連結会計年度においてシステムの受託開発・販売および保守事業を行っていた連結子会社を第三者に譲渡したため、当中間連結会計期間よりセグメント名称を変更いたしました。このため、前中間連結会計期間の投資顧問事業の数値を記載しております。

決算ハイライト

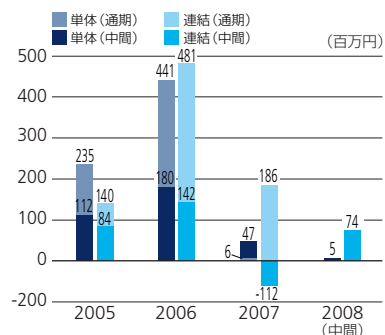
営業収益



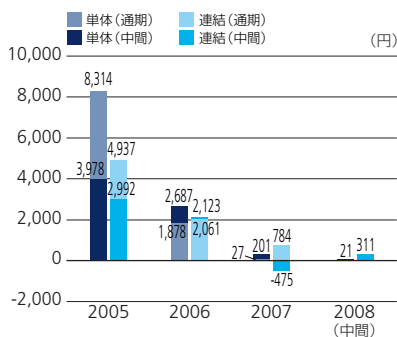
経常利益



中間 (当期) 純利益

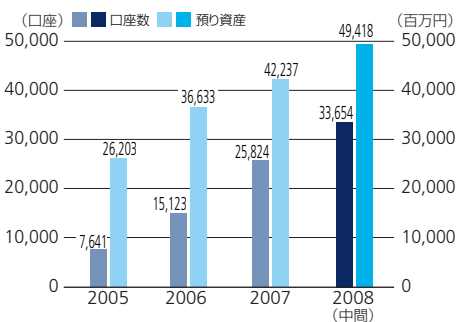


1株当たり中間 (当期) 純利益

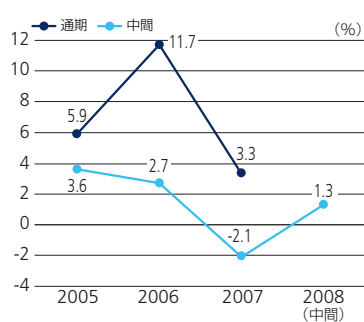


口座数/預り資産

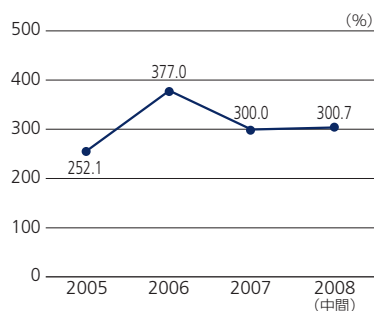
(預り資産は有価証券の保護預り残高を除いて記載しております。)



自己資本利益率



自己資本規制比率



自己資本規制比率

金融商品取引業者の財務の健全性を測る重要な指標として「自己資本規制比率」があります。「自己資本規制比率」とは、その自己資本から固定的な資産を控除した「固定化されていない自己資本の額」を、将来発生し得る各種の危険に相当する「リスク相当額」で除して算出する指標です。簡単に解釈すると、企業の潜在的リスクの合計額に対して、自己資本を源泉とするキャッシュ・フローを何倍保有しているか、を示しています。

自己資本規制比率の算出方法

自己資本規制比率の算出については「金融商品取引法」および「金融商品取引業等に関する内閣府令」等に定められていますが、その概要は以下のとおりとなっております。

$$\begin{aligned} \text{自己資本規制比率 (\%)} &= \frac{\text{固定化されていない自己資本の額}}{\text{リスク相当額}} \times 100 \\ &= \frac{\text{基本的項目 (注1) + 補充的項目 (注2) - 控除資産 (注3)}}{\text{市場リスク相当額 (注4) + 取引先リスク相当額 (注5) + 基礎的リスク相当額 (注6)}} \times 100 \end{aligned}$$

(注1) 資本金、資本剰余金、利益剰余金、評価差額金(−の場合)、自己株式。(注2) 引当金、劣後債務、評価差額金(＋の場合)。(注3) 固定的資産(会計上の固定資産とは異なる)。(注4) 保有する有価証券等の価格の変動等により発生するリスクに相当する額。(注5) 取引の相手方の契約不履行等により発生するリスクに相当する額。(注6) 事務処理ミス等日常的な業務遂行上発生するリスクに相当する額。

※「単体」表示に関して：当社グループは2006年10月1日に持株会社体制へ移行しており、同日以前の「単体」内容については、移行前のトレイダーズ証券の財務内容となります。

FINANCIAL STATEMENTS

中間連結貸借対照表〈要旨〉

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間期 (2007年 9月30日現在)	前中間期 (2006年 9月30日現在)
(資産の部)			
流 動 資 産		50,176,895	35,717,530
現金及び預金		12,952,389	14,225,686
預 託 金		5,470,000	4,650,120
売 掛 金		—	34,309
トレーディング商品		610,418	461,875
信用取引資産		1,280,802	2,861,273
短期差入保証金		29,513,682	13,084,838
繰延税金資産		54,240	6,336
その他流動資産		388,221	405,198
貸倒引当金		△ 92,859	△ 12,109
固 定 資 産		1,038,512	1,807,353
有形固定資産		80,098	242,534
無形固定資産		220,021	737,717
投資その他の資産		738,393	827,101
投資有価証券		336,142	398,991
繰延税金資産		34,544	36,329
その他		367,706	391,780
資 産 合 計		51,215,408	37,524,884

科 目	期 別	当中間期 (2007年 9月30日現在)	前中間期 (2006年 9月30日現在)
(負債の部)			
流 動 負 債		45,395,716	31,640,561
トレーディング商品		97,269	—
信用取引負債		1,269,692	2,804,508
預 り 金		5,316,695	4,101,870
受入保証金		37,189,220	23,827,672
短期借入金		1,165,000	480,000
一年内返済予定長期借入金		77,520	144,560
その他流動負債		280,318	281,950
固 定 負 債		73,521	327,814
リース債務		65,374	231,609
その他固定負債		8,147	96,205
特別法上の準備金		59,461	24,740
証券取引責任準備金		59,461	24,740
負 債 合 計		45,528,699	31,993,116
(純資産の部)			
株 主 資 本		5,659,186	5,349,333
評価・換算差額等		5,011	△ 2,221
新株予約権		22,510	7,576
少数株主持分		—	177,079
純 資 産 合 計		5,686,708	5,531,767
負 債 純 資 産 合 計		51,215,408	37,524,884

注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

解説-1

手許流動性が高いことについて

「現金及び預金」には、外国為替証拠金取引(FX)を行う顧客からの預り現金のうち提携信託銀行に分別信託している額が計上されており、これは固有の自己資金とは分別管理されています。また、「短期差入保証金」には、FXのカバー取引を行うため提携金融機関に対して差入れている預託金および日経225先物・オプション取引の取次ぎのため大阪証券取引所に預託している証拠金が計上されています。

解説-2

負債比率が高いことについて

負債合計が多いのは、事業の拡大に伴い顧客からの預り資産が増加するほど、「預り金」および「受入保証金」が増加するためです。金融商品取引業者には顧客資産の分別管理が義務付けられており、顧客からの預り資産は、大阪証券取引所に直接預託又は提携信託銀行に分別信託される等により保全されています。

解説-3

特別損失について

「固定資産除却損」は、システムを新機能にリプレイスする際に生じた旧システムの除却損であり、機能的陳腐化が想定よりも短期に生じたことにより未償却額を一時損失として計上したものです。「システム障害損」は、連結子会社トレーダーズ証券の証券取引システムの障害に起因して発生した自己ポジションの反対売買による決済により生じた損失であり、現在システム会社に対して損害賠償請求を行っております。

中間連結損益計算書〈要旨〉

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間期	前中間期
		(2007年4月1日から 2007年9月30日まで)	(2006年4月1日から 2006年9月30日まで)
営 業 収 益		3,052,904	2,530,322
受 入 手 数 料		1,217,872	1,019,200
ト レ ー デ ィ ン グ 損 益		1,767,999	1,197,252
金 融 収 入		23,185	27,354
シ ス テ ム 販 売 等 収 入		—	286,515
投 資 顧 問 料 収 入		43,846	—
金 融 費 用		40,191	38,110
上 原 価		—	177,223
営 業 収 益		3,012,712	2,314,988
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		2,325,858	2,279,515
営 業 利 益		686,854	35,473
営 業 外 収 益		29,312	11,781
営 業 外 費 用		12,342	12,583
特 常 利 益		703,824	34,671
特 別 利 益		—	197,749
投 資 有 価 証 券 売 却 益		—	193,249
そ の 他 特 別 利 益		—	4,500
特 別 損 失		554,283	332,367
固 定 資 産 除 却 損		102,327	—
シ ス テ ム 障 害 損 失		384,103	—
減 損 損 失		—	303,729
そ の 他 特 別 損 失		67,852	28,638
税金等調整前中間純利益(△損失)		149,541	△ 99,947
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		115,668	31,454
法 人 税 等 調 整 額		△ 40,495	38,604
少 数 株 主 損 失		—	57,062
中 間 純 利 益 (△ 損 失)		74,367	△ 112,944

注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書〈要旨〉

(単位：千円)

科 目	期 別	当中間期	前中間期
		(2007年4月1日から 2007年9月30日まで)	(2006年4月1日から 2006年9月30日まで)
営 業 活 動 によるキャッシュ・フロー		852,356	1,284,371
投 資 活 動 によるキャッシュ・フロー		△5,897	358,561
財 務 活 動 によるキャッシュ・フロー		△922,181	△1,199,644
現金及び現金同等物に係る換算差額		△8,927	382
現金及び現金同等物の増減額		△84,651	443,670
現金及び現金同等物の期首残高		4,785,482	2,880,016
新規連結子会社の現金及び現金同等物の期首残高		3,558	—
現金及び現金同等物の中間期末残高		4,704,389	3,323,686

注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

中間連結株主資本等変動計算書 当中間連結会計期間(2007年4月1日から2007年9月30日まで)

(単位：千円)

	株主資本					評価・換算差額等		新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主 資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
2007年3月31日 残高	2,830,965	2,090,064	722,144	△498	5,642,675	1,827	1,827	16,978	5,661,481
中間連結会計期間中の変動額									
新 株 の 発 行	6,599	—	—	—	6,599	—	—	—	6,599
剰 余 金 の 配 当	—	—	△47,668	—	△47,668	—	—	—	△47,668
中 間 純 利 益	—	—	74,367	—	74,367	—	—	—	74,367
連結子会社の増加に伴う減少高	—	—	△16,788	—	△16,788	—	—	—	△16,788
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	3,183	3,183	5,532	8,715
中間連結会計期間中の変動額合計	6,599	—	9,911	—	16,510	3,183	3,183	5,532	25,226
2007年9月30日 残高	2,837,565	2,090,064	732,055	△498	5,659,186	5,011	5,011	22,510	5,686,708

注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

OUR STRATEGY FOR FUTURE



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。トレーダーズ証券は、右記に掲げる新たな施策により、投資家の多様なニーズに合わせた金融商品・サービスの提供によって、下期は飛躍的な取引量の拡大と収益の増大に寄与することを確認しております。

今後とも温かいご支援の程、宜しくお願い申し上げます。
2007年12月

トレーダーズ証券株式会社
代表取締役社長

原 屋 一 雄

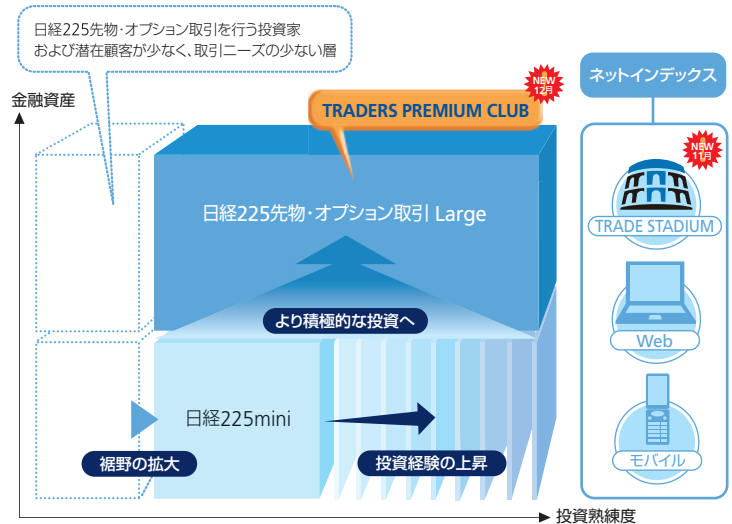
新たな事業戦略を展開し、飛躍

Q 証券取引事業の戦略について教えてください。

A 日経225先物・オプション取引（日経225mini含む）において、プロ並みの操作性を実現したリッチクライアントシステム「TRADE STADIUM」をリリースいたしました。以前から顧客の皆様にご好評をいただいている証券取引システム（ネットインデックス）と併せて、取引環境をより一層充実させると共に、よりご活用いただくため、顧客サポート社員のスキルの向上にも重点を置いた社員教育の強化に取組んでおります。また、金融商品仲介事業（IFA）も、全国展開を図り、販路拡充を進めております。

証券取引事業の戦略

注文執行スピードの速さ、システムの操作性・安定性等、ユーザビリティの高いサービスに加え、「TRADE STADIUM」には業界初となるシステムトレーディング機能を搭載しました。最上位の新取引システムをリリースしたことで競争優位性を高め、トップクラスの取引シェアをさらに拡大させてまいります。



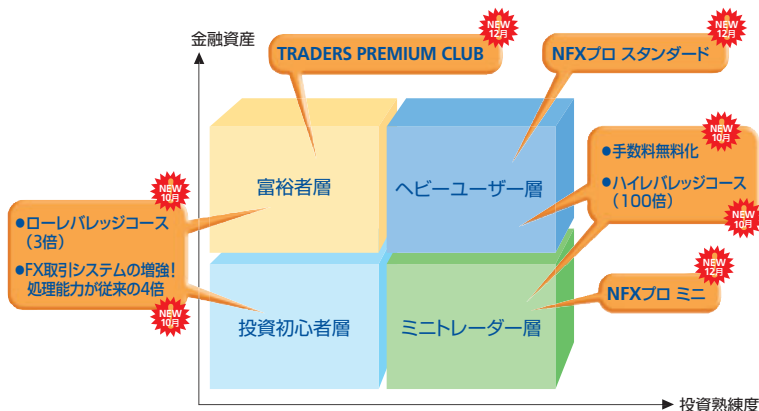
的な取引量の拡大と収益の増大を目指します。

Q 外国為替取引事業の戦略について教えてください。

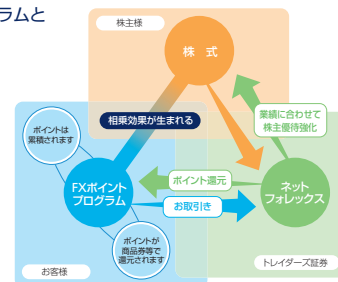
A 外国為替取引システム（ネットフォレックス）改善の成功と、手数料ゼロ（無料）化の施策により、顧客利便性の向上と取引量の拡大を目指します。また、新たな戦略としてアクティブ投資家層向けに新取引システム（NFXプロ）を導入し、多様な投資スタンスに合わせたサービスの選択肢を増やすことで、顧客満足度を高め、様々な顧客ニーズに合わせたマーケティング戦略を実施し、収益の拡大を図ってまいります。

外国為替取引事業の戦略

多層化する投資家層それぞれの取引ニーズに対応できるシステムの複数化、取引条件・サービスの複合化により他社にはできない全方位型のサービス構成（事業基盤）の確立を目指します。



FXポイントプログラムと株主優待制度



トレイダース証券 (NEW 11月)
 顧客還元型のサービス「FXポイントプログラム」制度導入
 FXの取引量や保有するポジション量に応じてポイントを付与!
 ポイントを貯めれば多種多様な商品券と交換できます。
＋さらにプラスして
トレイダースホールディングス (NEW 11月)
 ●当社株主の方には「株主優待ポイント」を追加付与（※一定の条件があります）
 ●保有株数が増えれば、一定取引量あたり付与されるポイントもさらにアップ!
 お客様の意向、ニーズに合わせたサービスを展開し、当社グループとの未来いおつきあいをいただくことで、さらなる企業価値の向上を図ってまいります。

Q その他の重点施策を教えてください。

A セミナー・講演会等の全国展開を図るべく、お客様のニーズを吸い上げたより質の高い内容のセミナーを企画し、開催頻度を増加させることにより、ひとりでも多くのお客様に情報収集の機会を提供していきたいと考えております。このような双方向コミュニケーションを通じて、投資家の皆様に相場への理解を深めていただき、より健全な業界発展に貢献することを確固たる決意とし、全社一丸となって取り組んでおります。



2007年11月セミナー風景

OUR STRATEGY FOR FUTURE

外国為替
取引事業

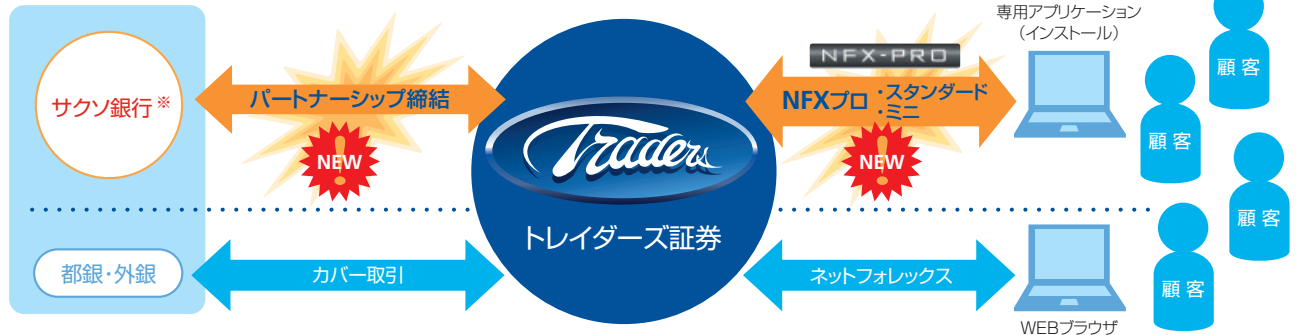
Information

FX取引上級者のための業界最高水準為替トレーディングシステム「NFXプロ（ネットフォレックスプロ）」誕生！

日本のリテール向けFXのパイオニア「 트레이ダーズ証券」とFX取引システムにおける世界の雄「サクソ銀行」のノウハウとシナジー効果を活かした融合により、FX業界での“V奪回”を宣言します。

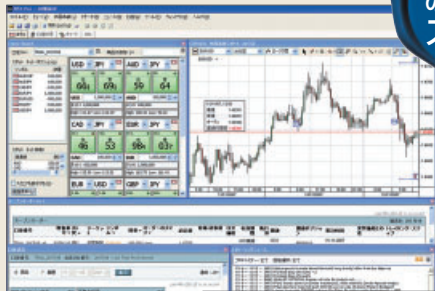
急拡大を続けるFX取引業界において、個人投資家も著しい成長を遂げつつある今、取引システムやサービスへのニーズの深化に対応し、業界最先端のトレーディング環境を実現しました。あらゆる面で「プロディーラー化」したヘビーユーザー層の取引利便性を大幅に向上させ、外国為替取引事業は次世代の新たな領域へステップアップします！

カウンターパーティー



※サクソ銀行：世界最高峰の優れたIT技術により開発したトレードシステムを基に、主要な金融市場・取引所を網羅する金融商品を提供するデンマークの銀行。顧客は世界170カ国以上に及ぶ。特にFX取引分野での評価は高く、「ユーロマネー」のFX調査で7つの金メダルを獲得、「FX Week」誌から投資家向けFX取引における最高の銀行としての栄誉を受賞。FX取引システムは業界の主要な賞、人気投票で常に高評価を受けるなど他の追随を許さない圧倒的な支持と信頼を受けています。

プロディーラー並みの取引システムを搭載



NFXプロ
のここが
スゴイ！

FX取引上級者のニーズに基づき開発された取引システム

- FXの取引スタイルに合わせ、操作デフォルト値の設定や画面レイアウトのカスタマイズが自由自在。
- 豊富な注文形態、高性能分析チャート、上級者向け市況レポートを実装。
- 注文発注時のクリック数を短縮化、簡易操作で相場急変時にもスピーディーな取引が可能。
- システムダウンのリスクが少なく、24時間安定した取引環境を提供。
- リッチクライアントシステムで、世界最新のテクノロジーを使用したプラットフォーム。
- 厳選した40通貨ペアを低スプレッド/手数料無料で取引が可能。

NFX-PRO

証券取引事業

Information

日経225先物・mini・オプション専用システムトレード 「TRADE STADIUM」本格始動！

日経225先物・オプション市場に対応した専用のリッチクライアントシステムで、さらなる顧客利便性の向上を追求します。



システムトレーディング機能搭載

TRADE STADIUM
のここが
スゴイ!

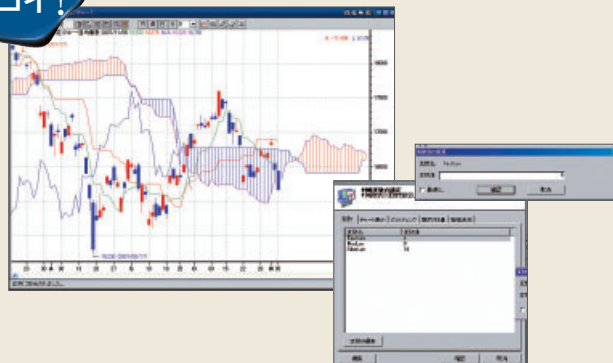
板画面上でダブルクリックするだけで
発注できる「クイック注文」搭載

業界最速スピードでの
発注を実現！

50		5
99		87
81		96
		51
		43
		46
		37
		38
0		0

発注完了!

● 訂正・取消も同一画面
で可能！



- オリジナルの売買シグナルを作成。
- エントリー&決済のタイミングが一目でわかる
チャート上でのポイント表示機能。
- システムトレード戦略作成→売買成績の分析→パラメーターの最適化
が簡単にできる。
- エディターで式を書かなくても、あらかじめ用意されている戦略を選択し、
パラメーターの設定を変えることでオリジナルの売買シグナルが作成可能。
- 自動発注機能搭載。

IR INFORMATION

株主優待制度、始めました！—トレーダーズ証券「FXポイントプログラム」制度に「株主優待ポイント」を付与

当社株主の皆様、トレーダーズグループの事業の中核であるFX取引における多様なサービスを実感し、ご理解いただくことで、当社株式の長期的な保有と当社グループとのさらなるお取引の継続をいただくために導入した優待制度です。

株主優待制度の内容

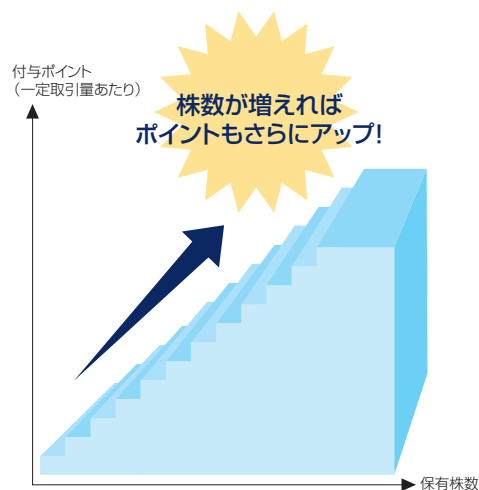
- 当社株式の保有株数に応じて、トレーダーズ証券が実施するFXポイントプログラム制度において「株主優待ポイント」が付与されます。
(付与されるポイントの詳細はWebへ→ <http://www.tradershd.com/>)
- 株主優待ポイントは、FXポイントプログラム制度において獲得した通常のポイントと合算し、5,000ポイントごとに5,000円相当の各種商品券・ギフト券等に交換することができます。

株主優待制度の特徴

保有株数の増加に応じてFX取引時に付与されるポイントが増加しますので、より多くの株式を保有していただくほどメリットが増えます。

株主優待制度対象株主（以下の全ての条件を満たしていること）

- 毎月末日時点で当社の株式を保有していること。
- トレーダーズ証券に当社株式を預託していること。
(※保護預かり証券もしくは為替・証券の各口座における代用有価証券に充当していること)
- トレーダーズ証券のFX取引（ネットフォレックス）を行っていること。(※電子交付サービスご利用のお客様に限ります)



ポイントは各種商品券・ギフト券等に交換できます!!



毎月15日(当該日が休日・祝祭日の場合には前営業日)に前月取引分による付与ポイント数がメールで送られてくる。



翌月第2金曜日までに申込フォームから商品券交換の申込をする。
(ポイントの商品券への交換は5,000ポイントごとになります)



翌月末にトレーダーズ証券から商品券を発送。



※余ったポイントは翌月以降の取引状況に応じて増加していきます。

トレーダーズ証券にFX（ネットフォレックス）口座を有するお客様には、株主優待制度のメリットをご理解いただき、また口座を有しない株主様は、この機会にぜひ口座開設とFX取引（ネットフォレックス）をご検討ください。

詳細は **03-5114-0344** (代表) IR広報部宛 または <http://www.tradershd.com/>へ

個人投資家向けIR説明会開催のご案内

트레이ダーズホールディングスでは、2008年よりIRの新たな取組みとして、ひとりでも多くの個人投資家の方々との対話の機会を増やすため、全国の主要都市で個人投資家向けIR説明会を開催いたします。ご参加を希望される株主様は、必要事項を記載の上、FAXまたはメールにてお申込みください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1月 東京 トレイダーズホールディングス株式会社 セミナールーム
2008年1月25日(金) 19:00-21:00 定員80名

2月 神戸 神戸国際会館8階 4号会議室
2008年2月15日(金) 18:30-20:30 定員30名

大阪 大阪証券取引所ビル3階 北浜フォーラムE・F
2008年2月16日(土) 14:00-16:00 定員30名

静岡 静岡駅ビルパルシェ7階 第3会議室
2008年2月29日(金) 18:30-20:30 定員30名

3月 名古屋 名古屋ルーセントタワー16階 F(ファープル)
2008年3月1日(土) 14:00-16:00 定員30名

岡山 岡山コンベンションセンター 404号室
2008年3月14日(金) 18:30-20:30 定員30名

広島 三井ガーデンホテル広島 白鳳
2008年3月15日(土) 13:00-15:00 定員30名

3月 熊本 ホテルニューオータニ熊本 桂の間
2008年3月28日(金) 18:30-20:30 定員30名

福岡 TKP博多シティセンター(サトンプライスホテル博多)
2008年3月29日(土) 14:00-16:00 定員30名

4月 仙台 ホテル法華クラブ仙台 藤の間
2008年4月11日(金) 18:30-20:30 定員30名

札幌 ホテルニューオータニ札幌 双葉の間
2008年4月12日(土) 14:30-16:30 定員30名



詳細は当社Webサイトをご覧ください。

<http://www.tradershd.com/>

会社情報

お申込み方法

参加をご希望のIR説明会、〒、住所、氏名、電話番号、メールアドレスを記載の上、FAXまたはメールにてお申込みください。

FAX 03-5114-0320 **メール** ir@tradershd.co.jp **お問合せ** 03-5114-0344 (代表) IR広報部宛

トレーダーズホールディングスWebサイト
最新のIR情報をご覧ください。
<http://www.tradershd.com/>



2008年1月にトレーダーズホールディングスのWebサイトが全面リニューアルいたします！各コンテンツを刷新し、投資家の皆様へ当社グループに関する鮮度の高い情報をスピーディーに、よりわかりやすく発信してまいります。

ディア・ネットサービス-IRメール配信サービスのご案内
最新のIR情報をお伝えします。
<http://www.tradershd.com/ir/>



当社グループに関する開示情報や最新のニュースリリース、Webサイト更新情報等を、ディア・ネットサービスにご登録いただいた皆様に電子メールにて配信いたします。ディア・ネットサービスのご登録は、当社Webサイトへアクセスしてください。

前回は410名もの株主様からご協力いただきました。誠にありがとうございました。
今回も「株主アンケート」を送付いたしますので、ご協力をお願いいたします。

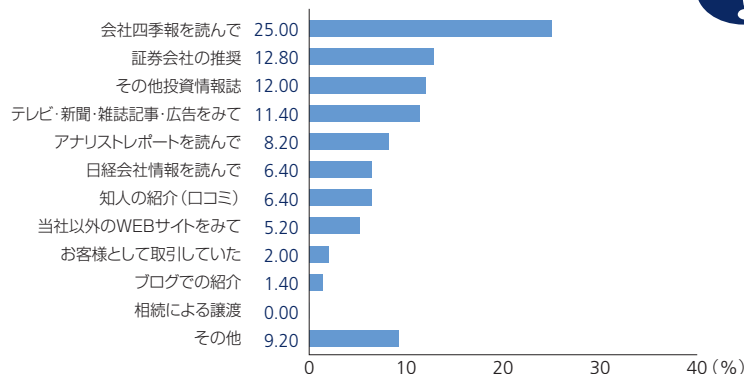
トレーダーズホールディングスでは、株主の皆様のご意見をお伺いし、より積極的なIR活動を展開するため、定期的に株主アンケートを実施しています。

添付のアンケートハガキにご回答の上、ご投函いただきますようお願い申し上げます。より多くの株主様からのご回答をお待ちしております。

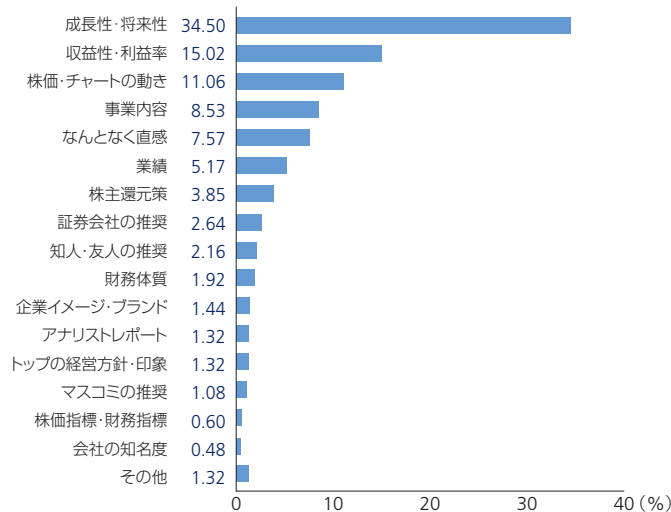
※アンケートの締め切りは、2008年1月31日(木)着までとさせていただきます。

2007年6月26日～7月31日に実施した株主アンケートの集計結果は以下の通りです。

●当社株式ご購入の経緯をお聞かせください。

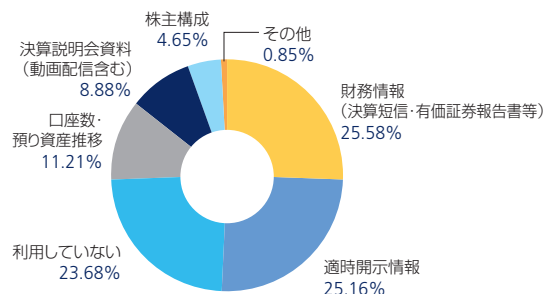


●当社株式ご購入時に重要視されたポイントを3つまでお選びください。

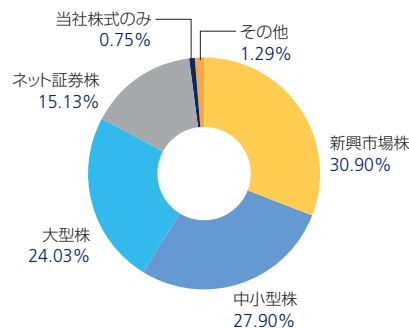


Present
アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で500名様にTRADERSオリジナルQUOカードをプレゼントいたします。※QUOカードのデザインはイメージです。

●当社HPのIR情報のうち、どの情報をよく利用されていますか。



●当社以外に保有されている株式銘柄があれば教えてください。



株式の状況 (2007年9月30日現在)

発行可能株式総数	803,400株
発行済株式総数	238,704株
株主数	9,873名

大株主

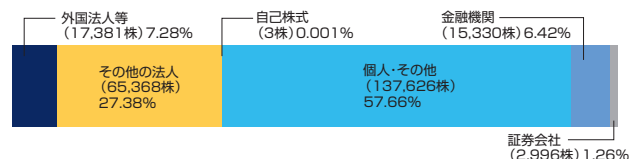
株主名	当社への出資状況	
	持株数	出資比率
グロードキャピタル株式会社	63,000株	26.39%
金丸貴行	17,732	7.42
株式会社三菱東京UFJ銀行	11,700	4.90
金丸多賀	11,523	4.82
ロンバードオーディエタリエベンチアンドシー	4,950	2.07
エイエスピーサーブドサービスクライアツアカウン006	4,430	1.85
イーエフジエフ	2,500	1.04
モルガンスタンレーアンドカンパニーインターナショナルビ-エルシー	2,201	0.92
大阪証券金融株式会社	1,666	0.69
黄申波	1,513	0.63

※出資比率は、自己株式(3株)を控除して計算しております。

会社概要 (2007年9月30日現在)

商号 / トレイダーズホールディングス株式会社
 所在地 / 〒106-6029
 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー29階
 設立 / 1999年11月5日
 資本金 / 2,837,565千円
 代表取締役社長 / 斎藤 正敏
 従業員 / 連結94名 単体11名
 主な取引金融機関 / 三菱東京UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行
 三井住友銀行 りそな銀行
 子会社 / トレイダーズ証券株式会社
 トレイダーズ投資顧問株式会社
 株式会社インベスト

所有者別株式分布 (株式数)



所有者別株主分布 (株主数)



所有株数別株主分布 (株主数)



役員構成 (2007年9月30日現在)

取締役

代表取締役社長	斎藤 正敏
取締役会長	金丸 貴行
取締役副社長	原 屋 一雄
取締役副社長	勝 屋 義郎
常務取締役	新 妻 正幸 (公認会計士)
取締役	岡 本 宗太郎
取締役	山 田 順一

監査役

常勤監査役	角 田 正英
監査役 (非常勤)	大 網 英道 (公認会計士)
監査役 (非常勤)	渡 邊 剛 (弁護士)
監査役 (非常勤)	會 田 健一 (公認会計士)

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
上場取引所 大阪証券取引所 ヘラクレス市場
公告の方法 電子公告
公告掲載URL <http://www.tradershd.com/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

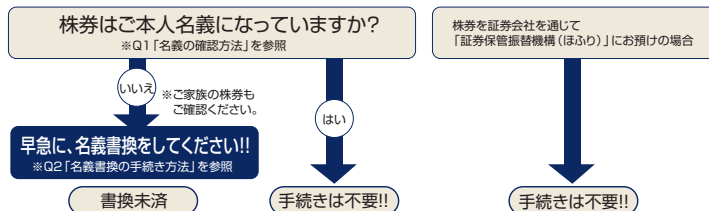
お知らせ

株式に関するお手続き用紙のご請求について
株式に関するお手続き用紙(届出住所・印鑑・姓名等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書、名義書換請求書等)のご請求につきましては、上記株主名簿管理人にてお電話ならびにインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。
0120-244-479 (三菱UFJ信託銀行本店証券代行部)
0120-684-479 (三菱UFJ信託銀行大阪証券代行部)
インターネットアドレス <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>
なお、株券保管振替制度をご利用の株主様は、お取引口座のある証券会社にご照会ください。

2009年(平成21年)1月実施予定 株券が「無効」に!!

■株券電子化が実施されると、上場会社の株券は無効となりますが、株主の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されます。

株券をお手元(自宅、貸金庫等)にお持ちの場合は、必ずご確認ください。



Q1 株券「名義の確認方法」は?

A1 お手持ちの株券の裏側に「登録年月日」「株主名」「登録証印」の項目がありますので、「株主名」の欄が本人確認のできるお名前かご確認ください。
※古い株券の場合、原始名義人が表側に印刷されているものがあります。

Q2 株券「名義書換の手続き方法」は?

A2 相続・贈与・譲渡等による名義書換の手続きは株主名簿管理人に連絡をしてください。

■株主名簿管理人の探し方■

株主総会招集通知、配当金通知などの書類の封筒に記載されている差出人をご確認ください。(主に、信託銀行や証券代行会社の証券代行部の名が記載されています。)

■株主名簿管理人において行える主な手続き■

1. 名義・住所等の変更
2. 紛失等株券の再発行
3. 単元未満株式の取扱

※その他、証券会社でも名義書換の手続きの取次を行っている会社もあります。詳細は、お近くの証券会社へお問い合わせください。

Q3 株券電子化後に開設される「特別口座」って何?

A3 株券電子化に伴い、証券会社を通じて株券を「証券保管振替機構(ほふり)」に預けていない株主の権利を確保するために、自動的に当該上場会社が信託銀行等に開設する口座です。

注意!

- ◆株券電子化実施前後の売却はできません。
- ◆「特別口座」では、株式の売買はできません。
- ◆複数銘柄を所有している場合、「特別口座」も銘柄ごとになります。

「証券決済制度改革推進センター」資料より作成

お問い合わせ先および情報は

日本証券業協会
証券決済制度改革推進センター
(証券受渡・決済制度改革懇談会事務局)
TEL:03-3667-4500 (平日9:00~17:00)※
URL:<http://www.kessaicenter.com/>
(※担保に関する情報も適宜更新しています。)



株主アンケートへのご協力をお願いします。

アンケートにご回答いただいた方のうち抽選で500名様に
TRADERSオリジナルQUOカードをプレゼントいたします。

※QUOカードのデザインはイメージです。



トレイダーズホールディングス 株式会社

〒106-6029 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー29階
TEL.03-5114-0344 (代表)
<http://www.tradershd.com/>

